

“あなたの思いがこのまちをつくる”



志摩市長 大口 秀 和

志摩市2代目の市長として市政を担当させていただくことになりました。

志摩市が誕生して4年が過ぎました。合併後も、志摩の地域経済については依然厳しいものがあり、人口の減少も進みつつあります。さまざまな課題を抱えてはいるものの、「志摩市」にはそれらを乗り越えられるだけの力が秘められていると私は信じています。どうしたら「住みたいまち」をつくれるのか。任期中、地域の再生に持てる力すべてを傾注していく所存であります。

「住みたいまち」づくりを進めていくために、志摩で生活する我々だけでなく、志摩を離れ活躍する方々からも、志摩市を応援していただこうと平成18年に設立したのが、志摩市応援倶楽部「志摩びとの会」です。現在では、280人を超える会員の方々にご参加いただいております。

昨年8月には志摩市まちづくり基本条例が施行され、この条例の理念に沿って、現在「市民主体のまちづくり」を進めておりますが、「志摩びと」のみなさまの貴

重なご意見や応援もいただきながら、まちづくりを進めていきたいと考えております。

また、今年度から始めましたふるさと応援寄付制度を活用してご寄付をいただいた会員の方々にはこの場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

応援していただけるような魅力あるまちづくりに取り組んでまいりますので、今後とも、どうぞご支援とご協力の程よろしく願いいたします。



2009年(平成21年)

3月3日発行

Vol.⑥

志摩市応援倶楽部 志摩びとの会事務局
〒517-0592
三重県志摩市阿児町鶴方3098-22 志摩市役所 企画政策課内
TEL: 0599-44-0205 FAX: 0599-44-5252
e-mail: shimabito@city.shima.lg.jp
HP: http://www.city.shima.mie.jp/shimabito/index.cfm

ご住所、メールアドレスに変更がございましたら、志摩びとの会事務局までメール又はFAXでご連絡いただけますと幸いです。



芋洗坂係長(小浦一優さん)

テレビですっかりおなじみの「芋洗坂係長」こと小浦一優さん。ピン芸人の頂上を争う2008年のR-1グランプリでは「突如現れた謎のメタボ芸人」として、2点差の準優勝。



番組を見ていましたが、「芋洗坂係長」が志摩びと会員である小浦さんだと気が付きませんでした。

小浦さんは志摩市出身ではありませんが、志摩びと会員である志摩市磯部町の坂本さんがダンサーとして東京で活躍されていたときからの古い友人であり、その縁で、以前には磯部地域の「楽の舞」という踊りの振付けをしていただいています。志摩を大変気に入っていただいております、志摩びとの会にもご入会いただきました。

昨年10月の合歓の郷のイベントではお会いする機会をいただき、その際に「第2の故郷である志摩のためにぜひ協力したい」というお言葉をいただきました。志摩を思ってくれている「芋洗坂係長」を志摩からもどんどん応援していきます！

【プロフィール】

小浦一優(こうらかずまさ) 1967年12月生 福岡県出身
高校卒業後上京し、ダンサーや役者として活躍。1989年5月に同じ福岡県出身の田口浩正とお笑いコンビ「テンション」を結成。コンビ活動休止後、舞台役者として活躍。2008年2月に「芋洗坂係長」としてR-1グランプリで準優勝。

大道典嘉選手 少年野球教室

1月7日、ともやま公園球場で、志摩びと会員である志摩市大王町船越出身の大道典嘉選手(読売巨人軍)による少年野球教室が開催され、市内のスポーツ少年団員約100人が集まりました。

当日は、大道選手だけでなく、甲子園に出場した明野高校時代のチームメイト4人も講師として加わり、投球、打撃、守備に分かれて一人ひとりに丁寧な技術指導が行われました。

大道選手は一人ひとりに声をかけていました。子どもたちは、直接プロの指導を受けることができ、野球に対する思いがさらに強くなったようでした。



子どもたち一人ひとりに丁寧な指導を行う大道選手。子どもたちには一生の思い出となったことでしょう。

翌日8日には、大道選手は市役所を訪れ、大口市長を訪問。

大道選手は、「近年、伊勢市からプロ選手が数人出ているが、志摩からは出てきていない。志摩でもっと野球を盛り上げて、志摩=野球のまちにしたい。子どもたちにはこれから頑張ってもらって、志摩からぜひプロ野球選手が出てほしい。そのためには、できる限り協力したい」と語ってくれました。



大口市長から花束を受ける大道選手。



スリラーを踊る芋洗坂係長。体のキレがすごい！

Auzer SPIRIT

りました。

いくつものチームによって繰り広げられる様々なダンスからは有り余るほどの若いエネルギーが溢れていました。都会に比べれば刺激の少ないこのまちで、地域の若者たちが思いっきり楽しむことのできるこのようなイベントは非常に重要な役割を果たしているのだと感じました。楽しみたい気持ちがあれば、何でもできるんじゃないかな、という気持ちになってきます。

また全国デビューを果たした志摩市出身のHIPHOPグループ「DAZZLE 4 LIFE」(ダズルフォーライフ)も出演し、彼らのパフォーマンスで会場は一体となりました。彼らの「志摩でもできるんだ」という言葉がとても印象的でした。

10月25日、合歓の郷ミュージックキャンプホールで、A.U.Z.ダンススクール主催のダンスイベント「Auzer SPIRIT」(アウザースピリット)が開催されました。

このイベントには同ダンススクール代表の坂本さんの古くからの友人である芋洗坂係長もゲスト出演し、満員の会場は大いに盛り上が



志摩市浜島町出身のDAZZLE 4 LIFEに注目！！



あ お さ プロ ジェ ク ト



あおさプロジェクトとは、志摩市を代表する特産品である「あおさ」(和名：ヒトエグサ)を「志摩ブランド」として確立し、取引価格の安定を目指す取組みです。あおさ養殖業者の所得が増加すれば、低迷する真珠養殖業から、あおさ養殖業へ転業することが可能となります。また、あおさは二酸化炭素を吸収するため、環境に優しい養殖業と言えます。地域経済にもエコにも効果がある、画期的な取組みです。



あおさ〜君がいるのわかりますか？

志摩産のあおさは、全国生産量の約3割を占めているのですが、全国的にはまだまだ知られていません。志摩ブランドを確立するため、志摩産のあおさが使われている商品には、認定の証として、あおさをモチーフにしたかわいいキャラクター「あおさ〜」シールを貼って、全国に売り出して、認知度を高めていく取組みを推進していきます。

また行政だけでなく、志摩市商工会においてもあおさを用いた特産品の開発などに取組んでおり、その取組みが、平成20年度の「地域資源∞全国展開プロジェクト」として経済産業省に認定されています。

このように地域が一体となって、あおさによるまちおこしを推進しています。みなさんも志摩のあおさを食べて、ふるさとを応援してみませんか。



詳しくは、あおさプロジェクトホームページ <http://www.aosanori.jp/>



あなたの志摩への思いを実現する方法があります。

★志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました

志摩市では、この地域に暮らす人々や他の地域に暮らしていても、絶えず「心のふるさと志摩」を思い、また志摩市の発展を願う人たちの熱き心を地域づくりに活かし、住民参加型の地方自治を進めるため、志摩市ふるさと応援寄附条例を制定しました。

★寄付金の運用目的を指定できます

いただいた寄付金の運用方法は、寄付していただいた方ご自身により、次の7項目からご指定できます。

- (1) 環境に関する事業
- (2) 生活・安全に関する事業
- (3) 産業の振興に関する事業
- (4) 健康・福祉に関する事業
- (5) 教育・文化に関する事業
- (6) まちづくりに関する事業
- (7) その他個別の指定事業



★申し込み方法

寄付金額は1口5,000円より。申請をいただいた方に振込用紙をお送りします。詳しくは企画政策課までご連絡ください。

申請のない方に振込用紙等をお送りすることは一切ございませんので、ご注意ください。

【問い合わせ】

志摩市役所 企画政策課

TEL : 0599-44-0205 FAX : 0599-44-5252

e-mail : kikakuseisaku@city.shima.lg.jp

志摩のことばをつかおう

大学一年の最初の体育の時間でした。はじめにグラウンドをランニングさせられるのですが、受験のすぐ後で体力は落ちていて、すぐにバテてしまって、「えらいなー」なんて周りに声をかけながら走っていたのです。でも、みんな「??」という顔。「お前、誰をほめてんだよ」・・・なんてことありませんでしたか。

アイツ、えらそうだな

どうして??



よく使う？ 志摩の方言

- おいない ... 来てください
- えらい ... しんどい
- あばばい ... まぶしい
- おとしゃよー ... びっくりしたなあ
- だだくさ ... いいかげん
- ささって ... しあさって、3日後
- つる ... 持ち上げる

そういや昔、「志摩の人に『しあさって』って言うとうちが一日ずれるんだよね」なんて言われて、「ささって」が存在しないことを知ったときは衝撃でした。ささっての次の日やしあさってじゃないの?? 約束するときはきちんと日にちで確認しましょう。

志摩ゆかりの



かめすけ (1889) フランス最高勲章を受けた平賀亀祐画伯 ~1971

志摩市役所には、たくさんの絵画を展示しています。その中に、パリの街を描いた一枚の絵が飾られています。これは片田村からアメリカへ渡り、後にフランスで日本人初のル・サロン(フランスの由緒ある官展)金賞受賞者となる平賀亀祐画伯の作品です。

画伯は、1889年に志摩郡片田村(現在の志摩市志摩町片田)に生まれ、16歳のときに北米移民としてほとんど無一文の状態アメリカ・サンフランシスコへ渡りました。学費を稼ぐため仕事をしながら美術学校へ通い、1914年サンフランシスコ万国博覧会に作品を出展し「ジュリアン賞」を受賞。その際にフランスから来ていた審査員長から渡仏を進められ、1925年にパリのアカデミー・ジュリアンに入学。在学中の1926年に権威を誇るル・サロンに初出展した「扇を持てる婦人」他一点が入選し、画壇へ華々しくデビュー。その後も銅賞、銀賞を受け、1954年には「古いパリの街角」で金賞及びビロー賞(外国人初)を受賞しました。同年には、フランスでの永年の功績が認められ、フランス政府最高のレジオン・ドヌール勲章が授与されました。また松方コレクション返還等これまでの功績が認められ日本政府から勲三等瑞宝章、後に勲三等旭日中綬章を受けました。1965年には第1回三重県功労者として表彰も受けました。

画伯は、フランスに帰化するよう再三勧められても、「私は日本人として誇りを持って生きてきたのだから、これからは日本人として誇りを持って死にたいよ」と一生日本人として生きました。

外国に渡っても、きっと心には志摩の風景が生き続けていたのでしょう。



平賀 亀祐 画伯



ウェルネスリゾート 志摩ロードパーティ ハーフマラソン2009

2009

4.19 SUN

志摩スペイン村 10:00開会式

県内最大規模のマラソンイベント志摩ロードパーティが今年も開催されます。

お申込みなど、詳しくは「大会ホームページ」をご覧ください。

<http://shima.roadparty.jp>

お申込み締切は3月13日(金)まで。

大会サポーター千葉真子さん



イベント歳時記

イベント名	開催日	開催場所
国分寺の花まつり	5/8	阿児町国府
伊勢えび祭	6/6	浜島町浜島
伊雑宮御田植祭	6/24	磯部町上之郷
潮かけ祭り	7/22	志摩町和具
わらじ祭り	9/12	大王町波切

【イベントに関する問い合わせ】

志摩市観光協会

TEL : 0599-46-0570 FAX : 0599-46-1113